

平成 29 年 6 月 29 日

～夏休み旅行シーズンを前に～ 「安心・安全な旅」のための注意点



一般社団法人日本旅行業協会（本部：東京都千代田区 会長：田川博己）では、夏休みの旅行シーズンを前に、トラブルを未然に防ぎ、「安心・安全な旅」のために注意する点をまとめました。

<ご契約前>

◎インターネットや旅行のカウンターでお申込みの際は、そのお申込み先が「旅行業」の登録があるかどうか確認しましょう。

最近、日本では「旅行業」の登録のない海外旅行会社および旅行サイトなどが、日本語のホームページで航空券やホテルを募集しているケースが多くなりました。このようなホームページから申し込んだ場合は、日本で「旅行業」の登録をしている旅行会社と取引した場合に受けられる法律上の保護を受けることができません。また、「旅行業」の登録がないにもかかわらず、あたかも旅行会社のように旅行の販売をしている悪質なケースもあります。契約段階で、旅行会社の登録については確認の上、手続きを。

<ご旅行前>

◎海外旅行の前に外務省海外安全ホームページで渡航先の最新情報をチェックしましょう。また、【たびレジ】に登録しましょう。

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

渡航先の治安状況、犯罪の傾向や手口、法律や習慣を事前に熟知しておくことで、多くの事件や事故を防ぐことができます。外務省海外安全ホームページでは、最新の注意喚起としてのスポット情報や広域情報をはじめ、現地の状況を踏まえた安全対策や、安全の手引きとして平時の心構えや緊急時対応なども掲載されていますので、渡航前には必ず事前の情報収集をしておきましょう。

◎海外旅行の前に外務省海外旅行登録【たびレジ】に登録しましょう。

たびレジ：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg>

ご旅行前に「たびレジ」に登録をしておくと、渡航先の最新の安全情報が受け取れます。海外滞在中に、万一緊急事態が発生した際に情報とアドバイスが受け取れるように、忘れずに登録をしてください。

◎海外で健康に過ごすために、海外で流行している感染症の情報等をチェックしましょう。

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

FORTH（厚生労働省検疫所）<http://www.forth.go.jp/>

海外では感染症が流行している地域があります。ジカ熱は南米等を中心に「十分注意して下さい」が発信されている地域が多数あります。渡航先の感染症情報を始め、予防接種、ご旅行後の健康チェック等の情報が掲載されていますので、事前にチェックしましょう。

◎イザという時のために、旅行保険には必ず加入しましょう。

特に海外で病気になったり、事故に遭ったりすると高額な医療費が必要になることがあります。旅行保険は必ず加入しましょう。また、国内でも加入していると安心です。

<保険支払例>

*ハワイで盲腸になり、救急車で病院に搬送、緊急手術を実施。 支払保険金：230万円

*飛行機から降りる際、段差があり滑って転倒。頭部打撲、頸椎捻挫、右肩鍵板損傷。右肩関節に著しい機能障害が残るものとして、後遺障害認定。 支払保険金：1300万円

*チェコでバスを降りてレストランへ向かっている途中に転倒。右大腿骨頸部骨折。現地で約1ヶ月入院し、その後、日本へ移送。 支払保険金：1,100万円

◎旅程の共有（留守宅・会社）や緊急連絡先を控えておきましょう。

万が一の際にも双方での連絡が取れるようにしておくことが、安全対策の原則です。

<ご旅行中>

◎意識は海外モードへ。慢心をせずに無理のない旅行計画と健康管理を。

日本とは気候・食事・習慣すべてが違います。慢心が事故のもとです。

無理のないスケジュールで、十分休息を取り、適切な体調管理を心がけましょう。

◎危険な場所・治安の悪い場所には近づかないようにしましょう。

犯罪が多発する場所には近づかず、夜間の外出や一人歩きは避けるという用心が大切です。危険を避けるための大原則です。

◎バス等に乗車したときは、シートベルトを必ず閉めましょう。

シートベルトを装着すると、万一の事故の際の生存率が15倍違うというデータが出てます。国内海外問わず、移動の際は必ず装着する習慣を。

◎ホテル・旅館に宿泊するときは、非常口を必ずチェックしましょう。

万一の天災発生等に備え、移動ルートを確認しておきましょう。

◎スリ、置き引き、ひったくりに注意しましょう。

グループでの犯行にご用心。たとえば、一人が時間を聞くふりをし、注意をそらしている間に、他の仲間がバッグから金品を抜き取ったり、集団で取り囲んで身動きできないようにしてスリを実行したり、わざと飲物類を背広にひっかけ、親切にふきとるふりをして上着を脱がせ、金品を奪う手口もあります。十分な注意を払うとともに、多額の現金や貴重品は持ち歩かないようにすることも安全対策のひとつです。

以上

お問い合わせ先	(一社) 日本旅行業協会	広報室
	矢島・稲葉	TEL：03-3592-1244

～外務省・日本旅行業協会（JATA）共催セミナー第2弾～

7月6日（木）開催 【「旅行会社のための海外安全対策セミナー」】

JATAでは夏の旅行シーズンを前に、7月の『旅の安全の日』における模擬訓練をはじめ、安全面での啓蒙を目的とした様々な活動を行っております。その活動の一環で、6月22日に「添乗員のための安全対策セミナー」を行いますが、このたび外務省との共催によるセミナー第2弾として、7月6日（木）に「旅行会社のための海外安全対策セミナー」を開催することと致しました。

ダッカでの襲撃テロ事件からまもなく1年が経過しますが、この間にも頻発するテロ、天災、感染症への対応、そして不安定且つ緊迫した国際情勢と、リスクは多岐に渡っています。海外旅行の意欲喚起を行いながらも、現地情勢を含む注意事項は適宜お客様にお伝えして、お客様自身にもしっかりとリスクに備えて頂くのが、今の旅行会社が果たすべき役割です。外務省からは、旅行者の安全の確保に向けて、今まで以上の旅行会社の協力と安全への取り組み強化の依頼がありました。この1年での海外情勢を振り返りながら、今、旅行会社がお客様の安全のために取り組むべき事項について発信を頂く予定です。

また、安全対策の構築は、現地手配をアレンジするツアーオペレーターとも密接な連携が不可欠なことから、(一社)日本海外ツアーオペレーター協会（OTOA）会員にも参加頂く予定です。経営者・危機管理担当者・総務/CSR部門・海外旅行セクションの方々には必須のセミナーです。この機会に是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。（なお、6月22日開催の「添乗員のための安全対策セミナー」と外務省の発信内容は異なりますので、こちらも併せてご参加ください）

セミナー名：「旅行会社のための海外安全対策セミナー」

1. 主催：外務省・(一社)日本旅行業協会
2. 協力：(一社)日本海外ツアーオペレーター協会（OTOA）
3. 日時：平成29年7月6日（木）14時00分～16時00分
4. 場所：全日通霞が関ビル8階「大会議室」（JATAの入っておりますビルの8階となります）
5. 会費：無料
6. セミナー内容：
 - ・開催にあたり 日本旅行業協会 理事・事務局長 越智 良典
外務省領事局 海外邦人安全課長 石瀬 素之
 - ・外務省講演：外務省海外邦人安全課 邦人援護官 伯耆田 修
 - ・質疑応答
7. 参加対象：JATA会員旅行会社・OTOA会員会社
8. 申込方法 下記URL（WEB）よりご登録ください。
<https://form.gooker.jp/Q/auto/ja/kaigai170706/170706/>
9. 締め切り 2017年7月3日（月） *但し、満員になり次第締切ります。

以上